

令和5年度 東京都立足立新田高等学校 学校運営連絡協議会実施報告

1 組 織

- (1) 都立足立新田高等学校学校運営連絡協議会（全日制課程）
- (2) 事務局（構成）
局長（経営企画室長） 局員（教員から3名）
- (3) 内部委員（構成）
校長、副校長、経営企画室長、各部・各学年主任（教務・広報、生徒・保健、進路指導、1学年、2学年、3学年）を兼務する主幹教諭又は主任教諭6名の計9名
- (4) 協議委員（構成）
新田町会会長（学校運営連絡協議会副会長）、区立保育園長、近隣自治会長、本校体育施設管理指導員、区立新田学園校長、区民事務所長、PTA会長、西新井警察少年係長、千住消防署宮城出張所長の計9名

2 令和5年度度学校運営連絡協議会の概要

(1) 協議会

第1回協議会

令和5年6月30日（金） 午後3時30分～午後4時55分 本校大会議室

出席者：協議委員5名、内部委員8名

- ①授業参観
- ②校長挨拶
- ③委員委嘱
- ④学校運営連絡協議会の趣旨説明
- ⑤本校の教育活動について（現状と課題）

《協議》令和5年度の防災教育の計画について

第2回協議会

令和5年11月22日（水） 午後3時45分～午後4時55分 本校大会議室

出席者：協議委員6名、内部委員8名

- ①授業参観
- ②校長挨拶
- ③本校の教育活動について（現状と課題）
- ④生徒による授業評価結果の分析について

《協議》今後の学校運営について、

第3回協議会

令和6年2月9日（金） 午後3時45分～午後4時55分 本校大会議室

出席者：協議委員4名、内部委員9名

《協議》学校評価アンケート結果及び来年度の課題について

(2) 評価委員会

第1回評価委員会 令和5年11月22日（水）

出席者：評価委員2名、内部委員8名

《協議》学校評価アンケート項目提案・検討

第2回評価委員会 令和6年2月9日（金）

出席者：評価委員2名、内部委員9名

《協議》学校評価アンケート結果について

評価委員に集計結果を配布して、分析結果を紙面提出して頂き、内部委員で協議した。

3 学校運営連絡協議会による学校評価

(1) 学校評価の観点

- ・地域に開かれ、生徒・保護者・地域等のニーズに応えた学校経営を目指す。
- ・学校生活、学校の特色性、授業内容、地域との連携、生活指導、進路指導、生徒相談、美化活動、部活動、学校行事、いじめ・体罰防止に関する項目と学校への理解・学校の意欲・学校の実践。

(2) アンケート調査の実施時期・対象・規模・回収率

アンケートは12月中旬～1月中旬に実施し、1月下旬以降に集計をおこなった。

(3) 主な評価項目

- ・学校運営、学習指導、生活指導、進路指導、特別活動等
- ・今年度の重点：新型コロナウイルス感染症に関する取組
- ・いじめ防止、体罰防止、働き方改革
- ・ホームページや広報活動の充実

(4) 評価結果の概要

- ・学校への満足度を図る「本校に入学して良かった」は、過去3年を比較すると生徒は(87.1%⇒83.4%⇒80.5%)と高位水準となっている。保護者も(85.7%)と肯定的な回答をしているので、引き続き「安全・安心な学校で生徒の居場所を作り、夢に挑戦できる学校づくり」を推進していく。
- ・生活指導については、「本校の生活指導の方針を理解している」には、生徒が(79.3%)、保護者が(74.1%)と肯定的な回答をしており、学校の生活指導方針が生徒に浸透しつつあり、継続指導をしていく。
- ・授業に対して教職員の意識と生徒との満足度に誤差があり、内容に興味を持てるように配慮している項目に教職員は(91.4%)と答えているが、生徒の肯定的な評価は(79.9%)であった。一昨年度からひとり一端末導入をし、Teamsを活用したオンライン授業や個々の課題に対応できる学習配信をさらに活用し、「生徒主体の学び」や生徒の「深い学び」を引き出す工夫をしていく必要がある。
- ・新田地区青少年委員からのアンケート結果からは、「部活動を活発に行っている」「ホームページの充実、足立新田便りの発行等で広報活動に取り組んでいる」の項目で高評価を頂いた。
- ・「いじめの防止や体罰防止」に関しては、生徒の(75.2%)が肯定的な回答をしている。年3回の「いじめ・体罰アンケート」の実施、アンケートにいじめや体罰が疑われた時の確実な聞き取りの実施、いじめ対策委員会の定期開催と学校サポートチーム会議の開催等の取組の充実を図っている。
- ・課題であった「生徒が交通ルールを守っている」への評価は肯定的な回答は過去3年間を比較すると(43.3%⇒63.0%⇒65.0%)と上昇傾向ではあったが、低迷している。自転車乗車中の交通ルールやマナー指導の徹底を求める声も未だ多い。今後もより一層安全指導の徹底を図り、地域に迷惑をかけないように指導をしていく。

4. 学校運営連絡協議会の成果と課題

(1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

- ・生徒が地域で活躍している様子や学校では見られない様子を知ることができたとともに、地域の方々に温かく見守られていることを再認識した。
- ・本校での取り組みをさまざまな方法で情報発信して、地域の方にもっと本校の素晴らしさを理解してもらえるとさらに良いと応援して頂けていること、それを受け、本校の受検者数も増え、さらに活性化することを期待して頂けていることを知ることができた。

(2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

- ・「自転車の乗り方」や「交通ルール」に関する地域からの苦情が多いことについて、学校が繰り返し指導を継続していることについて、十分理解をして頂いている。交通ルールやマナーを守っている生徒も多くいることを地域の方々には理解していただいているため、より一層の改善が図れるよう指導を重ねていく。
- ・様々な学校生活において、コロナ感染症が発生する前の状況に戻りつつある。行事等での地域との連携等も含め、引継ぎがいったん途切れてしまい、手探りの状況もみられるが、ご理

解・ご協力を得ながら、再度、構築していく必要がある。

5. 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項

(1) 学校運営

- ・様々な教育活動を実施し、生徒がより一層活躍できる場を提供できるよう進めていく。
- ・生徒と教職員のコミュニケーションを密にし、生徒・保護者が相談しやすい環境づくりを恒常的に目指す。

(2) 学習指導

- ・本校の特色である「学系列選択科目制」の授業について、内容をより充実させ、自ら課題を設定し、探究活動をしながら進路実現を図る。
- ・一人一台端末を活用した授業展開やICT機器を活用した個別学習等に向け、教員研修の促進と充実を図る。

(3) 特別活動

- ・学校行事に関しては、以前の形に戻すだけではなく、今の生徒たちによりあったものを作り上げていく。部活動に関しても、全国大会・関東大会で活躍できるよう実施していく。部活動の加入率がコロナ禍より低下傾向にあるので、部活動加入率を学校全体で高めていく指導を継続する。

(4) 生徒指導

- ・本校の生活指導の柱である「基本的生活習慣の確立」について、生徒が意識の低下が見受けられる。「あ（挨拶をする）じ（時間を守る）み（身だしなみを整える）そ（掃除をする）運動」の徹底を教員全員で指導して、生徒に定着させていく。

(5) 進路指導

- ・三年間を見据えた進路指導の定着により進路決定率は高い水準で安定してきている。生徒の多様な進路の実現に向けて、2年生より三者面談を充実させ、保護者との連携を一層深めていくとともに、進路指導部を中心に学校全体での進路指導体制をさらに強化していく。

(6) 健康・安全

- ・交通ルールに関する指導に関しては、依然課題がある。登下校時の交通マナー指導を継続するとともに、交通ボランティアを体験させ、高校生の自転車マナーを体験することについて協議検討を進めていく。

(7) 広報活動

- ・今年度の受検者数増加を考察し、来年度の中学生の受検者数を更に増加傾向につながる広報活動の充実を図る。

6. 「学校がよくなった」と考える協議委員の割合

(1) 協議委員人数 9人

(2) 学校がよくなったと答えた協議委員の人数

そう思う	多少そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	分からない	無回答
5	4					

7. その他

- ・学校評価アンケートをWEB化したことで保護者の学校評価アンケートの回答率が低迷している。保護者へ通知が行き届かないことも原因の一つである。次年度は、東京版Classiを活用して周知していく。